

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み（条件づくり）	校区社協としての取り組み	
心の通い合う住みよい城南	笑顔あふれる住みよい城南	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化社会の進行</li> <li>独居 老々世帯の増加 孤立化</li> <li>認知症の実態の啓蒙が必要</li> <li>8050の問題</li> <li>コロナ禍での活動減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化率が29.3%と高齢化が進んでいる</li> <li>独居高齢者世帯の割合が13.7%（市平均11.2%）と高い</li> <li>孤立化による認知症高齢者の対応</li> <li>8050問題を知ろう</li> <li>認知症の実態を知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からの声かけ、挨拶</li> <li>老人会など地域コミュニティへの参加・運動の啓発を図り、運動機会を設けフシイル予防に取り組む</li> <li>高齢者の情報を共有できるよう地域組織や関係機関と定期的な情報共有</li> <li>ふれあい給食、のあり方の改革を試みる</li> <li>サロンや老人会のPR</li> <li>サロンや行事の再開を呼びかける</li> <li>通いやすい場所の環境を創る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活上の困り事や福祉の相談窓口となる公的機関一覧をまとめる（校区版）</li> <li>ふれあい給食の在り方を検討拡充を計る</li> <li>サロン、百歳体操等回数増加と老人会への参加者促進を計る</li> <li>認知症サポーター養成講座の実施</li> <li>日頃からの声かけ、挨拶の啓発</li> <li>配達サービス事業所等（ヤクルトさん等）との連携</li> <li>各種健康講話、出前講座の実施</li> <li>リハビリ職の派遣（百歳体操指導・体力測定等）</li> <li>命のバトン</li> <li>長寿祝賀会</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で生活している障がい者の把握</li> <li>身寄りのない単身障がい者の緊急時の対応（安否確認）</li> <li>障がい者に関する理解啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護の観点から、障がいのある方（手帳所有者）の名簿等の作成や周知が難しい</li> <li>障がい児童 生徒の支援学級の現状知りたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の意向に基づきつなぎ先を共有する</li> <li>日ごろからの見守り活動や訪問などで支援が必要な方の早期発見。</li> <li>日頃から隣人同士声かけ、挨拶</li> <li>自治会と民生委員、地域の各種団体との日頃からの連携</li> <li>障がいのある方への対応や福祉制度の研修会等を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害に関する理解啓発</li> <li>学校や地域に向けた障がい者サポーター研修や障がいに関する情報提供を実施。</li> <li>災害時要援護者避難支援制のPR及び登録促進</li> <li>日頃からの声かけ、挨拶の啓発</li> <li>自治会と民生委員、地域の各種団体との日頃からの連携</li> <li>災害時要援護者避難支援制度（要援護者名簿）活用、登録勧奨</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の避難の支援体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護法により実情把握が困難</li> <li>避難場所は確定しているが、そこまでどうやって移動するのか、誰がサポートするのか解らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時要援護者避難支援制度への理解促進</li> <li>災害時要援護者避難支援制度（要援護者名簿）活用、登録勧奨</li> </ul>			
		元気な心とからだ	子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援ネットワーク活動を通して交流</li> <li>たんぼぼクラブ（未就園児と保護者）への参加が少ない</li> <li>早くからの入園などがあると思われる。</li> <li>わたげクラブ（幼小中生・保護者）子どもだけの参加が多い</li> <li>保護者の顔がみえにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援ネットワーク活動を通しての交流</li> <li>たんぼぼクラブ年16回 年間計画のもと親子で集う チラシを回覧</li> <li>わたげクラブ年9回 たんぼぼクラブを卒業した親子が集える場所</li> <li>子育てネットワークは総会1回理事会3回 地域の方や学校等情報交換 料理コンテスト 子育てシリーズを発行している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親同士の情報交換会の開催</li> <li>子育て支援ネットワークとの連携</li> <li>世代間交流の機会の促進</li> <li>活動の継続が大事</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や学校との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの居場所づくり、保護者間の交流</li> <li>日ごろからの声掛け挨拶運動</li> <li>地域の各種団体と学校等との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援ネットワーク活動を通しての交流</li> <li>日ごろからの声掛けや挨拶運動</li> <li>通学路の安全点検や危険箇所の情報共有 PTA地区情報交換会</li> <li>登下校時の見守り挨拶運動</li> <li>組織の拡充を早急に計る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の見守り、挨拶運動の組織化充実</li> </ul>
		安全で暮らせる城南	災害・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の防災意識の構築が急がれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区避難所運営マニュアルは出来ているが、具体的運営がこれからである</li> <li>住民を主体にした訓練をどう進めるかが急がれる</li> <li>各町内のハザードマップは随分前に作ってあるが、校区全体のハザードマップが急がれる</li> <li>避難所までの避難途中場所の確保を考えておく必要があると思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区全体ハザードマップの作成及び周知、防災訓練の際活用する</li> <li>避難所運営マニュアルの改定及び実践的な避難訓練</li> <li>各家庭の防災行動計画作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、関係機関とともに町内と校区での支援体制づくりを推進する</li> <li>校区防災連絡会及び避難所運営委員会との連携</li> <li>各家庭での防災行動計画作成促進</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の役割分担構築</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身は自分で守ることが原則</li> <li>情報を確認して高齢者、障がい者、児童のサポートの日頃訓練等が大事</li> <li>災害時要援護者避難支援制度における個別支援プランの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災情報を住民に確実に伝える</li> <li>避難所運営における役割分担の整理</li> <li>災害時要援護者避難支援における個別避難支援プランの作成</li> </ul>		
	世代を超えて城み南なで支え合	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>(成人期)</li> <li>社会参加と健康維持の情報の広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍を機に交流の場が減っている。</li> <li>介護保険第2号認定者(40～64歳)がいる</li> <li>特定健診の有所見結果で肥満・糖尿病予備軍が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事やイベントの再開の検討（個人の健康維持が校区全体の健康づくりや活性化につながるよう啓発）</li> <li>校区の様々な世代や転入者も気軽に参加し交流できるイベント、場をつくる</li> <li>住民同士支え合いの確認の隣保でありたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動支援</li> <li>校区内に外国籍の住民がどれくらい居住しているか調べる</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動の担い手不足</li> <li>役員の高齢化</li> <li>住民同士支え合いの確認の隣保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化により自治会の役員、ボランティアなり手がいない。</li> <li>民生児童委員のなり手がいない</li> <li>アパートなど集合住宅の住人が地域住民と接する機会が少ない</li> </ul>			